

つけてくれていると思ひ直し、これからは仲良しになって受け入れるようにしようと思ったものです。いつものように体もだるく、眠れなくて一晩中居間のソファで座ったままの日も幾日もありました。けれど我慢我慢で早く治りたい一心でした。ホルモン療法もあったので下腹のはりに加え、頭、のど、舌、あご、歯茎、全身のこり、胃の痛み、足のだるさ、むくみ全部ありました。4回目の抗がん剤、外来の診察室でいつもの様に看護師さんに「頑張るわ」って言いますといいよって優しく言ってくださり、本当に良くしていただき頭の下がる思いでした。又点滴にも耐えることが出来ました。

12月7日、いよいよ最終の抗がん剤も無事に終わりました。主治医の先生から「やっと終わりましたネ」って労いのお言葉をいただき、とても嬉しくホッと致しました。それからがまたまた大変な苦難でした。貧血に悩まされ輸血もしました。歩くのさえしんどくて買い物カゴさえ持つのもつらく、掃除機もひざをついての作業でした。

それから8ヶ月振りに生もの解禁と言われたときは、海鮮物の大好物な私は「バンザイ」とさげんだ位でした。うれしかったです。その後何回かCTも撮り、血液検査の結果も幸いにして順調です。

3年と8ヶ月が経ちました。今現在も手の指先、足の指先のシビレが残っていますし、一日おきに抗がん剤も服用していますので、口内炎、味覚も月の内半分位は完全ではありません。けれど毎日生かされていることに感謝感謝の日々を送っています。病気前の自分の体にはなかなか戻れませんが、ガンをやっつけようと日々頑張っています。つい先日72歳の誕生日を迎える事が出来ました。私のようなおばあちゃんでも、“まだまだって前を向いて程ほどに頑張っていくよ。”って自分に言い聞かせて居ります。みなさまもどうか早く治られますように心より願い祈って居ります。

川 柳



しょうがない がん闘病を 糧にしよう

傷跡は 乗り越えた証 胸を張り

通院も なぜか楽しい 母と二人

無理しない がんばりすぎない 深呼吸

再建を したいけれども 傷はやだ